

薬連ハイライト

「事務担当者会議」・「選挙活動マニュアル説明会」 がWEBで開催される

令和4年2月2日、神谷まさゆき中央後援会主催の「事務担当者会議」が13時30分より行われた。この会議は中央後援会と都道府県後援会との連携を図るために開催されているもので、全国の事務担当者が本来であれば一堂に会して行うものであるが、昨今の事情により今回はWEBで行われた。

定刻に中央後援会浜田副会長の司会で始まり、最初に山本会長より日頃の後援会活動に対するお礼と共に、引き続きの協力依頼の挨拶があった。

次に「公職選挙法と後援会活動について」と題し、日本薬剤師連盟の橋爪顧問弁護士よりご講演をいただいた。まず政治活動と選挙運動との違いが説明され、実際にあった違反例を挙げながら文書違反・買収・インターネットを使った運動等についての注意点が述べられた。

続いて荻野副会長より「今後の後援会活動に関するスケジュールについて」、大澤副会長より「支援

者名簿の入力等について」及び「選挙活動マニュアルについて」、鳥海副会長より「SNS対策について」、石井副会長より「支援団体等について」それぞれ説明がなされた。そして質疑応答が行われた後に、川田副会長より閉会挨拶とコールが行われ終了となった。

また、1月31日には、都道府県の幹事長を対象として、「選挙活動マニュアル（案）」の説明会がWEBで開催された。

あと4ヵ月間、共に頑張りましょう！



もとゆき便り

ブースター接種の推進

参議院自由民主党政策審議会長
参議院議員・薬剤師
藤井 もとゆき



新型コロナウイルス感染症は、欧米諸国等と同様にオミクロン株の感染により、これまでにない驚異的なスピードで拡大が続いています。オミクロン株はデルタ株等と比べて潜伏期間が短く、世代時間も2日程と短く、このことが急拡大の要因となっていると考えられます。

他方、オミクロン株では鼻や喉といった上気道の炎症を引き起こしやすいものの、肺まで達して重症化するリスクが低いことも明らかとなっています。しかしながら、感染者の絶対数が増加することによって、重症患者数も増加しており、早急な対応が求められています。

政府はその対策の一つとして、ワクチンのブースター接種を推進していますが、接種予約が思うように進まない状況にあります。

こうした現状を踏まえ、自民党政務調査会の新型コロナウイルス対策ワクチンPTは、医療体制を少しでも守るため、ブースター接種の推進等に関する第7次の緊急提言を取りまとめ、政府に提出しました。提言では、今回の感染のピークアウト後にはSARS-CoV-2ウイルスに対する人口レベルでの免疫は一定程度維持され、今後の感染では重症化しにくくなるのが期待されるとも記しています。今後どのような変異株が出現するか分かりませんが、これを最後に8次提言が出ないことを祈りたいと思います。

オレンジ日記

誰が安定供給を担うのか

自由民主党副幹事長・女性局長代理
参議院議員・薬剤師
本田 顕子



2019年、私が参議院議員として国会に行かせていただいた直後、抗菌薬セファゾリンナトリウムの欠品問題が話題になりました。この時に医薬品の原料の大半が中国に依存していることを知りました。

その後、2020年初頭から新型コロナウイルス感染症が世界的にまん延し、マスク等の医療用物資の不足が社会的問題となりました。

国民の生存に不可欠な物資について、「誰が安定供給を担うのか」という課題解決に向けて対策が進められています。

そのような中で、政府の「経済安全保障法制に関する有識者会議」が2月1日に「経済安全保障法制に関する提言」を公表しました。これを受けて政府は、「経済安全保障推進法案（仮称）」を今国会に提出する予定となっています。この法案は、安全保障の確保に関する経済施策として4つの制度を創設としています。その1つが「重要物資の安定的な供給の確保に関する制度」です。国民の生存や国民生活に甚大な影響のある物資（特定重要物資）の安定供給を図るため、特定重要物資の指定、民間事業者の計画認定・支援措置、特別の対策としての政府による取り組みなどを措置するとされており、現在直面している安定供給の課題解決にもつながる法律と期待しているところです。

しっかりフォローしてまいります。